【県指定・無形民俗文化財】

入来神舞（いりきかんまい）

（令和２年４月 28 日指定）

○　**所 在 地**　　薩摩川内市入来町浦之名

○　**保護団体**　　入来神舞保存会

○　**特　　徴**

入来神舞は，大宮神社の例祭（11 月 23 日と大晦日）に，五穀豊穣を願い奉納されている神楽です。舞は種類によって異なりますが，１～12 名の男女で構成され，楽は太鼓１名，笛１名です。元々，36 番ありましたが，現在は７番ほどが舞われています。

国指定無形民俗文化財「高原（たかはる）の神舞（かんめ）」（宮崎県）との類似性や系譜性が指摘されており，特別な舞の場を設けることや，剣を持っての勇壮な舞などに特色があり，旧島津領内における神舞の芸態を研究する上でも，貴重な文化財です。